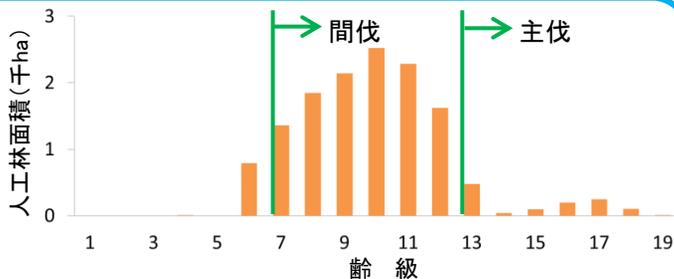


地材地消で地方創生に繋がりたい ～留萌北部の現状と今後の可能性～

留萌北部森林管理署 森林整備官(資源活用) 的場 香奈

1. 研究の背景・目的

留萌北部署管内人工林の主要樹種であるトドマツはその大半が間伐時期を迎えており、今後増大する出材に備えるとともに、着実に森林整備を進めるためには、木材需要の拡大と供給体制の整備が必要であると考え、留萌北部署管内における『**木材需要の現状**』と今後の『**地材地消の可能性**』について調査しました。



2. 木材需要の現状把握

留萌北部署が平成26年度に販売した丸太を対象に『**丸太の加工先**』、『**用途**』、『**最終消費地**』を調べた結果、ほとんどが管外で加工・消費されていることが明らかとなりました。



3. 需要創出による地材地消の可能性



木造牛舎

温泉施設のボイラー

2.の結果から、管内での『**地材地消**』を進展させることにより、新しい地域雇用や地域経済循環が生まれ、地方創生に繋がると考え、製材工場・町役場・木材関連企業・畜産家を訪問、そして地域のまち作り会議に参加し、『**地域での木材需要創出による地材地消**』の可能性について調査しました。その結果、それぞれが新たな需要のアイデア等を持っていることが分かりました。

4. 地材地消の進展に向けて

留萌北部署管内には森林資源が豊富にあり、更に地域にはそれを利用するアイデア等もある！しかし、個々の力では地材地消の進展に繋がっていません。そのため、様々な立場の人を集めて『**地材地消実行プロジェクトチーム**』を結成し、知恵を出し合い、地域に『**安定的な地材供給・地材製品生産・地材製品消費体制**』を構築することで、新しい『**地域雇用**』と『**地域経済循環**』が生まれ、やがて『**地方創生**』に繋がるものと確信します。

地材地消実行プロジェクトチーム

地材供給

安定的な

地材製品生産

地材製品消費

地材地消の進展

新しい
地域雇用

地域経済循環

が生まれる！

地方創生

繋がる！